科目名 Subject	日本事情Ⅱ Current Japanese TopicsⅡ		教員名	日本語チーム	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	1
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	×				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	○	△	○	◎
科目の概要	「日本事情」という科目は何のためか？　第一に、本学で日本人学生とともに学ぶ留学生が、日本語で行われる授業で、しっかり学び、自分の頭で考えることができ、考えたことや感じたことを、きちんとした日本語で話したり書いたりできるようになるためである。第二に、留学生たちが、日本社会や日本のカルチャーをよく知り、よく理解し、その上で日本に前向きな関心を持つためである。第三に、本学卒業後、日本で学んだり、働いたりすることを希望する留学生たちが、多文化共生社会へと転換するであろう日本社会において、立派に活躍し、社会に貢献するためである。特に第二のポイントに注力。以上を踏まえ、まず、日本語の４技能（読む・書く・聴く・話す）のより実践的な能力を高めるための授業を行う。その上で、留学生たちが、日本社会や日本のカルチャー、さらには、美齢学の観点から日本の美についての理解を深め、卒業後も、希望者が日本において、社会に貢献しつつ、日本での生活を楽しむことができるようなスキルの獲得を目指した授業を行う。				
授業の目標	（１）本学における授業の内容を十分に理解でき、授業に貢献（発表）できるようになる （２）日本社会を理解し、自らの生活に活かせるようになる （３）日本のカルチャーを理解し、自らの生活に活かせるようになる （４）日本社会で必要なコミュニケーション能力を発揮できるようになる （５）日本社会に貢献するためのスキルを身につけられるようになる （６）日本での生活を楽しみ、日本人との交流を真に楽しめるようになる　　特に、（１）（２）。				
時間外学習 （予習・復習）	前回の授業で学んだこと、自分が興味を持ったことについて簡潔にまとめ、今回の授業で学びたいことや質問等を書いた小レポートを毎回、授業開始前に提出する（前回の授業で学んだことに関連して自分で調べたことを書いてもよい）。自分の頭で考え、自分の言葉で書く能力を伸ばす重要な機会。				
教科書・教材	教科書	必要に応じて、いろいろなテキストを使う			
	教材	必要に応じて、いろいろな教材を使う			
	使用設備・備品	パソコン、プロジェクターなど			
	参考文献	適宜紹介します			
評価方法	・授業への貢献度（グループ討議への参加、意見発表、質問等）⇒　３０％ ・時間外学習による小レポート提出　⇒　２０％ ・最終レポート（「日本事情」をどう理解したか。それを踏まえて自分は 　何をするつもりか」のレポートを第１５回の授業時間に作成）⇒　２０％ ・定期試験　⇒　３０％				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。				
履修上の注意	詳しいレジュメは用意しません。講義を聞きながらメモ・ノートを取って下さい。社会に出ると、取引先、お客様等でレジュメを用意してくれる人などまずいません。相手の話を聞いて、メモを取り、その情報を上司や同僚と共有するためにレポートを書くスキルは必ず必要になります。				
本科目履修と関連する資格	資格名	特になし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	ＤＶＤ「釣りバカ日誌新入社員浜崎伝助」の聴解　その８	日本の会社におけるコミュニケーションを学び、日本社会のカルチャーについての理解を深める。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第２回	「日本語上級へのとびら」 第７課「日本のポップカルチャー」	好きな日本のポップカルチャーを語り、相手の話も上手に聴けるようになる。オノマトペに精通する。苦情や不平を言える。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第３回	ＤＶＤ「釣りバカ日誌新入社員浜崎伝助」の聴解　その９	日本の会社におけるコミュニケーションを学び、日本社会のカルチャーについての理解を深める。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第４回	「日本語上級へのとびら」 第８課「日本の伝統芸能」	日本の代表的な伝統芸能についての基礎知識を獲得。絵を見てストーリーが話せ、日本の童謡が一つ歌えるようになる。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第５回	ＤＶＤ「釣りバカ日誌新入社員浜崎伝助」の聴解　その１０	日本の会社におけるコミュニケーションを学び、日本社会のカルチャーについての理解を深める。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第６回	「日本語上級へのとびら」 第９課「日本の教育」	日本の教育制度の理解。日本の教育の長所と短所につき議論する中で上手に議論できるようになる。ジェスチャーの理解。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第７回	ＤＶＤ「釣りバカ日誌新入社員浜崎伝助」の聴解　その１１	日本の会社におけるコミュニケーションを学び、日本社会のカルチャーについての理解を深める。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第８回	「日本語上級へのとびら」 第１０課「日本の便利な店」	コンビニや自動販売機など日本の便利な点について学ぶ。「便利な国　日本」というエッセイをピアレスポンスで書く。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第９回	ＤＶＤ「釣りバカ日誌新入社員浜崎伝助」の聴解　その１２	日本の会社におけるコミュニケーションを学び、日本社会のカルチャーについての理解を深める。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第１０回	「日本語上級へのとびら」 第１１課「日本の歴史」	日本がいかに海外からのものを受け入れ、消化し、日本流に発展させてきたかが理解できるようになる。形容詞を十分理解。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第１１回	ＤＶＤ「釣りバカ日誌新入社員浜崎伝助」の聴解　その１３	日本の会社におけるコミュニケーションを学び、日本社会のカルチャーについての理解を深める。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第１２回	「日本語上級へのとびら」 第１３課「日本人と自然」	日本の自然と四季について理解する。俳句の作り方を理解し、お互いの作品を鑑賞しあうことができるようになる。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第１３回	日本企業の採用模擬面接 その１	自分の長所と短所について、簡潔に書け、口頭て具体的に説明できるようになる。質疑応答にも対応できるようになる。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第１４回	日本企業の採用模擬面接 その２	「学生時代にした自慢できること」「将来こういう人間になりたい」等について活き活きと話せるようになる。	今回の授業で初めて知ったことや分かったこと、興味深いこと等をまとめたレポートを次回の授業までに提出する。（６０分）
第１５回	１４回で学んだことや考えたことをまとめ、それを自分の行動にどう活かすか、話し合い、発表し、レポートにまとめる。	学習や思考を行動につなげられるようになる。	１４回の授業をレビューし、自分の今後の行動にどう活かすかについて、前もってよく考えて来ること。（６０分）